別紙

ＩＣＴ活用工事（土工 1,000m3未満）計画書

当該工事において、施工プロセスの各段階および作業内容において、ＩＣＴを活用する場合は、左端 のチェック欄に「レ」と記入する。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 施工プロセスの段階 | 作業内容 | 採用する技術番号（参考） | 技術番号・技術名 |
| □ | ①起工測量（選択） | □ | 土工 |  | 1　　空中写真測量（無人航空機）を用いた起工測量2　　地上型レーザースキャナーを用いた起工測量3　　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量4　　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた起工測量5　　ＴＳ等光波方式を用いた起工測量6　　ＴＳ（ノンプリズム方式）を用いた起工測量7　　ＲＴＫ－ＧＮＳＳを用いた起工測量8　　その他の３次元計測技術を用いた起工測量（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）※採用する具体の技術は受注後の協議により決定する。※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。 |
| □ | 作業土工（床掘） |  |
| □ | 付帯構造物設置工 |  |
| □ | ②３次元設計データ作成 |  | ※３次元出来形管理に用いる３次元設計データの作成であり、ＩＣＴ建設機械にのみ用いる３次元設計データは含まない。 |
| □ | ③ＩＣＴ建設機械による施工 | □ | 掘削工 |  | １ ３次元MG建設機械 |
| □ | 法面整形工 |  |
| □ | 作業土工（床掘） |  |
| □ | その他（　　　　　　）　　　 |  |
| □ | ④３次元出来形管理等の施工管理 | □ | 出来形管理（土工） |  | 1 モバイル端末を用いた出来形管理2　　空中写真測量（無人航空機）を用いた出来形管理3 地上型レーザースキャナーを用いた出来形管理4　　無人航空機搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理5　　地上移動体搭載型レーザースキャナーを用いた出来形管理6　　TS等光波方式を用いた出来形管理7　　TS（ノンプリズム方式）を用いた出来形管理8　　ＲＴＫ-ＧＮＳＳを用いた出来形管理9　　施工履歴データを用いた出来形管理（河床等掘削）10　施工履歴データを用いた出来形管理（土工）11　地上写真測量を用いた出来高管理12　その他の３次元計測技術を用いた出来形管理（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）※複数以上の技術を組み合わせて採用しても良い。※「①３次元起工測量」で採用した技術と相違しても良い。※現場条件等から、３次元出来形管理（面管理）が非効率と判断される場合は、従来手法（TS等光波方式を用いた出来形管理等）で管理することを認める。ただし、工事竣工段階の地形について面管理に準じた出来形計測を行い、⑤によって納品するものとする。 |
| □ | 出来形管理（付帯構造物設置工） |  |
| □ | 品質管理 |  | １ ＴＳ・ＧＮＳＳを用いた盛土の締固め管理 |
| □ | ⑤３次元データの納品 |  |

注 1) ＩＣＴ活用工事(土工　1000m3未満)の詳細については、ＩＣＴ活用工事（土工 1,000m3未満）特記仕様書によるものとする。

注 2) 具体的な工事内容及び対象土工範囲については、契約後、施工計画の提出までに、発注者へ提案・協議し決定する。